

**令和9年度 日本大学経済学部 総合型選抜（探究学習評価型）
第一次選考審査の講評**

日 本 大 学 経 済 学 部

このたびは、日本大学経済学部の総合型選抜（探究学習評価型）に御出願いただきありがとうございました。

「志望・学習計画書」及び「探究活動概要説明書」について選考の結果、次の通り講評いたします。

なお、御質問には一切応じかねますので御了承ください。

「志望・学習計画書」講評

「志望・学習計画書」の審査においては、次の3点を中心に評価を行った。

1. 「日本大学経済学部」に対する志望動機が明確であるか。
2. 探究活動を踏まえた上で、志望理由と入学後の学習計画が書かれているか。
3. 入学後の学習の目標、目標達成の方法とプロセス、学習成果の活用方法などが説明されているか。

以上3点のそれぞれについて、自身の経験や考えをもとに、分かりやすく具体的に述べているものに評価を与えた。特に、探究活動においてどのような学びを得たかを説明し、それが本学部への志望にどのように繋がったか、論理的かつ一貫性のあるものに高い評価を与えた。

一方で、本学部への志望動機が明確でないものや、高等学校等における探究活動の経験が書かれていなかったり、書かれている内容が探究活動のものかどうか不明瞭であったりしたものについては、高い評価を与えることができなかった。また、入学後の学習計画が、書かれていた探究活動や志望動機との関連性や因果性が低く、一般的なことが列挙されているものについても、あまり高い評価を与えることができなかった。

全体の傾向として、応募者の将来のキャリア目標を最初に示した上で、探究活動において何を行い、何を感じ学んだかを述べ、それを踏まえた上で、本学部への志望動機を述べ、入学後の学習計画へ繋げる志望・学習計画書が多かった。全体を通して整合性があり、文法に間違いがないことも、評価を分ける一因となった。

「探究活動概要説明書」講評

探究活動概要説明書と成果物をもとに、成果物の制作プロセスを評価した。以下、探究活動概要説明書の項目に沿って講評する。

1. 探究活動のテーマ・目的

受験生自身が経験した身のまわりの小さな変化から問いを立てたもの、与えられた課題であっても、当事者意識を持って問いに向き合ったものを高く評価した。一方、事前に与えられた複数のテーマのうちいずれかを単に選択して取り組んだものや、テーマ・目的が、問いの解明ではなく「調べること」にとどまっていたものは低い評価となった。

2. 方法・結果

ケース数が少なくても、独自に計画した調査を適切な方法で実施したもの、文献研究中心の探究活動であっても、適切な先行研究を引用しながら事実を精査したものを高く評価した。一方、目的

と方法が整合的でなかったもの、調査対象者の属性や数、実施時期の説明がなかったもの、調査結果の数値が明示されていなかったもの、先行研究の整理に終始していたものは低い評価となった。相関と因果の区別がついていないものも見られたが、これについては入学後に学んでいただきたい。

3. 考察・残された課題と今後の発展性

テーマや目的と整合的な考察をしたもの、得られた成果が不十分であっても、その理由と、考えられる解決策とを丁寧に論じたものを高く評価した。一方、結果は適切に示されていても、その結果を根拠とした考察が行われていなかったものは低い評価となった。

4. 探究活動とは

多くの受験生が、自ら立てた問いに向き合い解決する過程で、自分自身の見方や考え方が変わることが探究活動の意義であると述べていた。そのため、全体的に高い評価となった。

5. 他者との協働

探究を進めていく過程で分かち合うことの意義を、具体例とともに説明したものを高く評価した。一方、単に探究活動で得られた知見や成果を第三者に普及することであるといった説明にとどまっていたものは低い評価となった。

なお、複数名のグループで探究活動を行ったものも出願可能としたが、個人で取り組んだものと比べて、受験生個人としての学びの深まりが十分に示されていないものが見られた。グループで取り組む場合であっても、一人ひとりが主体的に問いに向き合うことが求められる。

以 上